

インターバンクの声（2014年12月9日）

前週末の予想以上に強かった米雇用統計を受け、週明けの海外株式市場や為替市場がどんな反応を見せるのか興味深かったが、取り敢えずは欧州もニューヨークでも株式市場は利益確定による売り。そして為替市場でもドルが対円、ユーロで売られた。さりとて、ニューヨーク市場の終盤に株価もドルも若干持ち直す動きを見せたので、昨夜の株売り、ドル売りが今後のトレンドになってくるのかは、まだ明確になってきたわけではないが、来週の米連邦公開市場委員会（FOMC）で声明文の「ゼロ金利政策を『相当な期間』維持する」との文言が削除されるとの思惑が強くなり過ぎているのは確かだ。この文言の削除に前向きとも受け取れる発言をしたフィッシャーFRB 副議長やクリーブランド連銀メスター総裁にしても、会合で確実にその主張を押し通すかについては慎重な物言いだった。昨夜もアトランタ連銀ロックハート総裁が、文言の削除を急ぐ必要はないとの考えを示した。とにかく株価の上昇、そしてドル円やユーロに対するドル上昇幅が短期間で大幅となったのは事実だ。今週はドル買いに慎重になる市場参加者が増えるような気もする。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。